

県外派遣報告書

審判員名	小柳 幸子	所属	ミニ連
大会名	平成26年度 関東高等学校女子バスケットボール大会 第68回 関東高等学校女子バスケットボール選手権大会		
期間	平成26年6月7日(土)～8日(日)		
会場	鹿沼総合体育館フォレストアリーナ / 栃木県体育館		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
6月6日	審判会議	ホテル丸治 会議室	
6月7日	1回戦・2回戦	鹿沼総合体育館・栃木県体育館	
6月8日	準決勝・決勝	鹿沼総合体育館	
会議・講義			
<p>関東ブロック長挨拶: 安西 郷史氏</p> <p>各チームの目的は様々であるが、1ゲームをしっかりと対応して欲しい。ブロック講習も控え、次の目標に向けて一人一人がチャレンジして欲しい。先生方の経験を自分の財産にして、一歩でも近づいて欲しい。各県代表として、それぞれの狙い・願いを感じて臨んで欲しい。</p>			
<p>【 6/7(土) レクチャー 】</p> <p>■前田 喜庸氏(東京都) ”ライセンスアップしていく中で”</p> <p>トップカテゴリーなどで起こる、ゴールテンディングやアンスポについて、いくつかのケースを見させて頂きました。オートマチックなケースは、3つの要件が揃って成立する。成立する要件を確認する事が必要。毅然と対応できるように、準備と覚悟を持ってコートに立つ事。クルーの協力は常に必要。その為のカンファレンスは大切である。目標を見失わずに努力し、目標を達成して下さい。</p>			
<p>■安富 朗氏(神奈川県) ”レフェリーの必要性と重要性～</p> <p>レフェリーも選手と同様に、レベルアップを目標としている集団である。レフェリーには交代は無いが意図がある。その役割を果たせるか、果たせないかで、今後の割当も変わってくる。何を頑張るのか？ただ頑張るのでは無く、ゲームにマッチする事。頑張る事の意味合いを整理して取り組む事が必要。レフェリーは必要だが、ゲームについては脇役として常に携わっていく必要性がある。</p> <p>レフェリーとしてより良い判定を目指す為に、4原則・責任エリア・スムーズな運営等を徹底し、公平性・一貫性を兼ね備えてコートに立つ事。また、次世代のレフェリーのお手本となるように努め、育成・中堅のステップアップにも貢献して欲しい。</p>			

【 6/8(日) 公認講習会 】

■渡邊 亮氏(日本協会講師)

メカニックの部分では、ディフェンスの視野に入る事が抑止力となる。見ている時間が長くなり、少ない移動で見続ける事ができる。ドライブの対応、2人の協力、気づきが必要。オートマチックに動かないように注意する。ベンチにアピールの際を与えてはいけない。

自分の責任を果たす事が”協力”のスタートである事を高く意識する。その上で、コート上のレフェリーがより良いゲーム運営を目指して協力していく。これから、自分の審判のイメージを膨らまし、4原則を理解し、ハイレベルのゲームに多く触れ、A級への備えを意識し実践・努力して下さい。

■吉橋 雅一氏(日本協会講師)

①誠実:モチベーションの維持、選手の為に誠実に、一生懸命に。②習慣:普段の行いがコート上に出る。レフェリーのABCを習慣付ける。③普段:会場へ足を運んだり、ビデオで観る等、チャンネル作りの努力をする。立ち姿・持久力を付ける為のトレーニング。3つのキーワードをお話頂きました。

瞬間の判断を求められる競技であり、反射的に判断できるまで反復練習が必要。レフェリーも選手同様に、沢山の引き出しと色々なチャンネルを持ち、様々なカテゴリーを経験する事が必要である。

実技

	期 日	6月7日(土)	男子	女子	2回戦
担当試合	対戦カード	作新学院(栃木)	VS	東京成徳大学(東京)	主審
	相手審判	佐藤 弘之氏(群馬)			
					副審

ミーティング内容

主任 石鍋 光智代氏

積極的に判定し、ダブルホイッスルもあつたりと、良いゲームだったと思う。ただ、細かな部分で基本的な所が疎かになってしまった。スローインやオーバータイムのケースなど、やり直しをさせるべき物はきちんとやり直しをさせる。しなかつた事によって、ベンチからのアピールの際を与えてしまった。プレイによっては、もっと長い時間で捉えた方が良い物がある。そうする事で、一緒に鳴って良いものが、実際にもっと増えてくる。

全体の感想

今大会では、講師の先生方から沢山の講義を頂く事ができました。習慣としてやってきたつもりでおりましたが、実際のコートではできていなかった事が出てしまいました。当たり前の事を失敗にならないように、また改めて普段の取り組みから見直していきます。日々の努力がコート上で発揮できるよう、目標・目的をきちんと持って、取り組みたいと思います。

最後になりますが、栃木県の皆様には大変お世話になりました。多方面に渡りお気遣い頂き、ありがとうございました。また、ご指導頂きました皆様にも、心より感謝申し上げます。埼玉県の皆様、このような機会を頂き、誠にありがとうございました。